



789-0系 スーパー白鳥

◆実車ガイド

- 789系0番代は、2002年の東北新幹線八戸延伸開業時の運転体系変更に伴い新設される、八戸～函館間の特急「スーパー白鳥」用に開発されたJR北海道の特急形電車です
- ステンレス車体に貫通路を備えた高運転台の車体は後のディーゼルカーキハ261系1000番代に受け継がれ、鋼製の前頭部は緑色に塗装されました
- 最初は3+2の5両編成を基本に、繁忙期などは分割した3両側を基本の5両編成に連結した8両編成で対応していましたが、後にサハと増結専用のクハとモハを増備して編成構成を組み直し、3+3の6両編成と2両の増結専用編成による構成に変わりました
- 北海道新幹線開業による「スーパー白鳥」廃止後の789系0番代は、札幌～旭川間の特急「ライラック」に転用され、沿線ゆかりのデザインを前頭部側面に施した姿で活躍し続けています

【文責:トミーテック】



写真:久保田 敬

※写真は実車でイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

◆製品化特徴

＜共通事項＞

- スーパー白鳥で使用された789-0系を新規製作で再現
- 印刷済みトレインマークは「スーパー白鳥」を装着済み
- 各ドア横と先頭部側面のロゴは印刷で再現
- 前頭部は実物においてカバーが付いた形態のダミーカプラーを装備
- ヘッド・テールライト、トレインマークは常点灯基板装備、ON-OFFスイッチ付
- ヘッド・テールライト、トレインマークは白色LEDによる点灯
- 前頭部渡り板はお好みで治具による穴あけ装着または、取付足部分をカットして両面テープによる装着が可能
- 車番は選択式で品番98895に転写シート付属
- 新集電システム・黒色車輪採用

＜98895＞について

- 5両編成から6両編成になった2006年以降の姿で再現
- クロハのグリーンカーマークは印刷済み
- クロハの室内灯はグリーン席側は電球色、普通座席側を白色とそれぞれ装着できる構造を採用
- フライホイール付動力、M-13モーター採用

＜98896＞について

- 増結編成の2両セット
- 付属のスカート付TNカプラーを98895のクハに装着することで連結可能
- 前頭部連結面用の幌枠パーツ付属
- モハ788300形のクハとの連結面側はTNカプラー標準装備
- ※増結セットを連結した8両編成の場合、通過できるカーブ半径は280mm以上です

◆ここがポイント

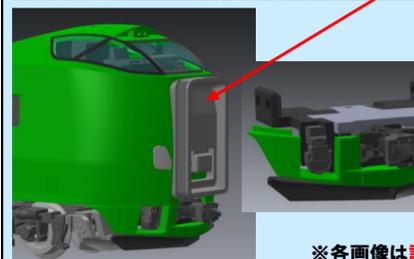


POINT:1

「HEAT789」ロゴマークは印刷済み

POINT:2

増結セットに付属する、クハ789形連結面間用の幌枠を装着することで、8両編成時の連結面間を実感的な姿にすることが可能



POINT:3

増結セットに付属する、スカート付TNカプラーに交換することで、8両編成が再現可能

※増結8両編成時の通過できるカーブ半径は280mm以上です

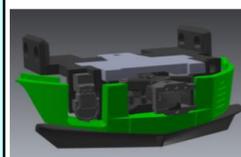
※写真は実車でイメージです

※各画像は試作、開発中のものです 実際の製品仕様と異なる場合があります

＜別売りオプション＞

- 室内灯: <0733>LC白色
- <0734>LC電球色
- TNカプラー: <0336>密連形

■分売部品のご案内

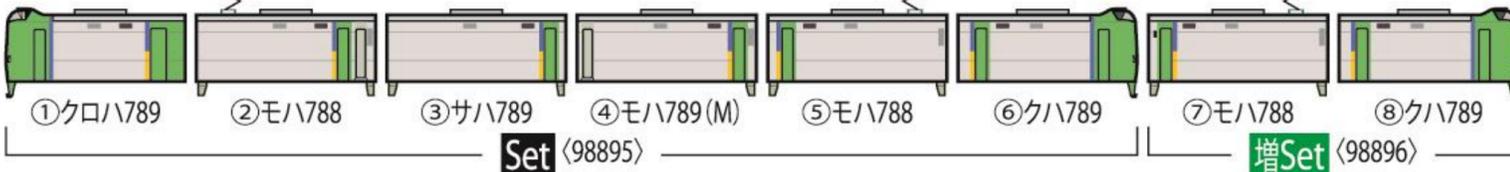


- <JC7267>
- 補修用
- 先頭車運転台側密連形TNカプラー(SP)スカート付

■セット内容・編成例

●特急「スーパー白鳥」(2010年頃)

←新青森・函館



青森→

※増結された8両編成にする場合、通過できるカーブ半径は280mm以上です

●お手持ちの車両などと並べて、同時代あるいは時代を超えて楽しめる青函関連商品●



品番	98895	品名	JR 789 0系特急電車(スーパー白鳥)セット	セット両数	6両
発売月	2025年8月	JANコード	4543736988953	予価	¥27,830 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	218×304×34mm	パッケージ形態	ブック型ブラケース
品番	98896	品名	JR 789 0系特急電車(スーパー白鳥)増結セット	セット両数	2両
発売月	2025年8月	JANコード	4543736988960	予価	¥8,580 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	173×115×26mm	パッケージ形態	紙箱
品番	JC7267	品名	密連形TNカプラー(SP・スカート付)		
発売月	2025年9月	JANコード	4543736072676	予価	¥1,100 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	52×32×21mm	パッケージ形態	紙箱

JR北海道商品化許諾済